

キラキラネーム —— その キラメキと ウレイ

フジワラ タダシ

チカゴロ、とても ふうがわりな コドモの ナマエが ふえて いる。これらは、「キラキラネーム」または アザケリを こめて「DQN(ドクン)ネーム」と よばれる。「愛瑠笑(アロハ)」「宇宙(コスモ)」「時二十四(ジョージ)」「汰偉虎(タイガ)」「七音(ドレミ)」など。その おおくは まず よめない。よめたと したら グウゼンで ある。

これ には、コセイテキで よい、コを おもう オヤの キモチが こもって いる、など コウテイテキな イケンが ある イッポウ、ムリな アテジは モジの コウキョウ~セイを ムシ して いる、オトコか オンナか わからなくて こまる、などと いった ヒテイテキな イケンも すくなく ない。また、イジメの ゲンインに なるの ではないか、シュウシヨクに フリに なるの ではないか、など シンパイ する コエも ある。

さて、キラキラネームが どの ような ツクラレカタを して いるか を みると、その おおくは「よい オト」と「よい モジ(カンジ)」とを リョウリツ させようという キモチが うみだした もの である ことが わかる。

したがって、ワレワレが キラキラネームに ついて このましく かんじる ところが あると すれば、それは、オトの ヒビキを タイセツに する ケイコウで ある。コトバは モジで あらわされる マエに まず オトで ある。こちよい オトの ヒビキ、それは、ニンゲンに とって、おおきな ヨロコビで ある。

しかし、それを「よい カンジ」で あらわそうと すると、とたんに ドロヌマにはまる こと になる。だれ にも ただしく よめない。タイヘンに メイワクな こと である。ホンニンに きければ まだ よいが、それが できなくて こまる ことも おおい。

カンジ の モトモトの オトを ナイガシロに して、おもいも よらない アテジを する。これは、モジと いう オオヤケの ザイサンを シブツ~カ する こと によって なりたつ アソビ では なかろうか。「よい オト」の ヒビキは ワレワレの セイカツに よく なじむが、「よい カンジ」は そう ではない。モジを つかった アソビは、ワタクシ~ゴト、たとえば ガゴウ など、と して たのしむ べきで あらう。